

# 東京農業大学稲花小学校

## 学校だより【9月6日】第21号



### はじめての創立記念日を迎えました

9月5日(木)、農大稲花小学校は、はじめての創立記念日を迎えました。一年前のこの日、東京都から設置認可を受け、本校の担当者が都庁に「学校設置認可書」受け取りに行った感慨深い記念日です。正式の認可をいただくまでにも、約2年間に渡った申請と審査、校地の整備と校舎の建設等、長い道のりを経ての設置認可で、お世話になった方々にも感謝の気持ちでいっぱいだった日でもあります。

1年を経た今日の創立記念日。特別な行事は行いませんでしたが、教職員一同は、これからも農大稲花小学校の教育にまい進すべく、心を新たにいたしました。今日の稲花タイムに畑でダイコンの種まきをした子どもたちは、農大稲花小学校の第一期生。11月の入学試験からは第二期生を迎える準備が始まります。

### 世界に目を向けて

9月3日(火)から9月5日(木)まで、ウラジオストクの極東連邦大学を会場として、「東方経済フォーラム」が開催されていました。ロシアのプーチン大統領、日本からは安倍首相、さらに各国大統領や首脳も出席する大きなイベントです。この中で行われた第8回 APEC 高等教育協力会議では、学校法人東京農業大学の澤理事長による講演が行われました。

入学式や運動会等の行事だけでなく、給食、水泳の授業、アフタースクールの子どもたちによるミュージカルなどに、農大稲花小学校の子どもたちは、澤理事長と会う機会があります。子どもたちが、ニュースなどを通して東京農大関係者の活躍を知り、さらに広い世界に目を向けていくことを願っています。

### シャインマスカットで食育

9月2日(月)には、南アルプス市で副市長を務めておられる東京農大の卒業生 手塚千広様より、見事なシャインマスカットが届きました。7月の桃に続く、子どもたちへのプレゼントです。「シャインマスカットは今、注目のブドウ。皮ごと食べることが良く、後味がより爽やかです」のメッセージともいただいたシャインマスカットを、子どもたちは、丁寧に扱い、じっくりと味わいました。美しい緑色の果皮も気にならず、種が無いこと、そ

の甘さを子どもたちは堪能したようです。

シャインマスカットは、東京農業大学と包括的連携協定を締結している独立行政法人農研機構果樹研究所が育成したブドウです。皮ごと食べられ、マスカット香と呼ばれる独特の香りを持ち、栽培がしやすいだけでなく、日持ちもするなど、多くの優れた特性を持っています。

後日、「ブドウの種をまいたら、(シャイン)マスカットが実りますか？」というかわいい質問がありました。あのおいしいブドウをもう一度！とばかりにブドウ栽培に挑戦しよう？とするその心意気は、うれしいものですね。



また、いつかは、ご家族で南アルプス市を訪問し、フルーツ狩りや温泉を楽しむのもよいのではないのでしょうか。

### ジャガイモで食育

9月5日(木)には、東京農大の卒業生で、北海道の(有)矢尾農場様から、ジャガイモをご恵贈いただきました。矢尾農場には、なんと42年前から、東京農大生の農業実習を引き受けていただいているという、長いご縁があり、今回のジャガイモも、東京農大生が収穫したものとのことです。



### 〔 北海道における大希望農業体験「矢尾ファーム実習」 〕

[https://www.nodai.ac.jp/academics/int/biob/news/biob\\_project/igata/](https://www.nodai.ac.jp/academics/int/biob/news/biob_project/igata/)

子どもたちは、先生の指示に従って、自分たちで数を数えて袋に詰め、自宅に持ち帰りました品種は男爵で、矢尾農場の男爵は、普通より糖度が高めとのことです。ご家族で料理をして楽しんでいただきますようお願いいたします。なお、8～9月に東京農大生が実習で収穫したジャガイモは、11～1月都内サミットストアで、東京農大生が販売するそうです。また、そのお知らせもさせていただこうと考えています。

校長 夏秋 啓子